

令和7年第8回定例会（12月）

代 表 質 問

質問順位	議席番号	常任委員会名	質問者
1	3	総務文教常任委員会	水谷幸乃
2	11	生活福祉常任委員会	宮田眞理子
3	9	産業建設常任委員会	岸野雅人

(目 次)

質問順位	委 員 会 名	質 問 者	ページ
1	総務文教常任委員会	水 谷 幸 乃 1
2	生活福祉常任委員会	宮 田 真理子 3
3	産業建設常任委員会	岸 野 雅 人 5

※ 質問事項の頁数は、所信表明又は施政方針の冊子の頁数となります。

質問順 1

総務文教常任委員会

(水 谷 幸 乃 委員)

1. (P 2)

湯沢高原ロープウェイについて、12月までに譲渡に向けた方向性を出すとの報告があつたが現状どうなっているのか。

2. (P 3)

放課後児童クラブは待機児童ゼロを目指し、とあるが現在は待機児童はいるのか。

3. (P 3)

子育て支援棟への移転によって、放課後児童クラブの受け入れ体制は具体的にどの程度拡充されたか。

4. (P 3)

こども家庭センターでの相談体制強化について、妊産婦や子育て家庭が利用しやすくなる具体的なサービス内容や連携体制はどのようなようか。

5. (P 4)

本年実施した6年ぶりの総合防災訓練について、具体的にどのような成果が得られ、逆にどの部分に課題が見つかったのか、町としての総合的な検証結果を伺う。

6. (P 4)

消防団の報酬や出動手当の見直しを行ったとのことですが、これが団員の確保・定着や士気向上にどの程度寄与すると見込んでいるのか、今後の支援策と併せて伺います。

7. (P 4)

自然災害が増加する中、高齢者や要介護者の避難体制について、現行の支援体制や個別避難計画の策定状況をどのようにみているか。今後、災害時に確実に高齢者の安全を守るために新たな取り組みはあるか。

8. (P 4)

「湯沢町財政運営指針」による具体的な効果や優先順位の考え方について「湯沢町財政運営指針」は令和6年度に策定された。公共施設のあり方に対するアンケートを実施し、公共施設等総合管理計画を策定した。令和11年を目処に公共施設の見直しをしていく予定であるとのことだが今後どのような基準をもとに公共施設を重点的に見直していく予定か。

質問順2

生活福祉常任委員会

(宮 田 真理子 委員)

1. (P 3)

生活福祉分野の内容がきわめて少ないが、これはどうしてか。

2. (P 3)

介護予防事業等を継続とある。新たな具体策はないのか。

高齢化率 40% という状況において、現在の低い要介護認定率（約 13%）を今後も維持するため、町として特に重点的に強化していく介護予防施策は具体的に何か。

3. (P 3)

高齢者が健康で安心して生活できる「やさしい町づくり」とは何か。その際、町の立場と高齢者の立場では見方が異なると思われるがどうか。

4. (P 3)

高齢者が元気でいきいきと交流・活動できるように、高齢者等路線バス運賃の助成事業や老人クラブなどの高齢者団体への支援を継続するとあり、交流促進や外出支援を推進しているようだが、町内施設等のバリアフリー化の今後の整備計画はどうか。

5. (P 3)

町立湯沢病院の一般病棟の稼働率が低調である現状を、今後どのように改善していくのか。

6. (P 4)

行財政健全化の取り組みが、福祉分野にしわ寄せをもたらすことはないのか。

7. (P 3)

高齢者及び障がい者の避難誘導等、有事の際の新たな方策の検討はなされているのか。

8. (P 3)

「町立湯沢病院経営強化プラン」に基づき必要な改変等を行うとのことだが、改変の内容を伺いたい。

1. (P1)

「令和6年度に過去最多となったインバウンド観光客（約36万人）、観光客の更なる回復・増加を見据え、不足する労働力の確保など、湯沢町観光まちづくり機構と町そして民間が力を合わせて受け入れ態勢を強化」とあるが、考えられるのは「多言語対応・多言語のご案内・キャッシュレス化対応」などと想像するが、受け入れの環境整備状況と課題をどう捉えどのような施策を実施するお考えか。

2. (P2)

「新たな恒久的で観光に特化した財源を確保するため、湯沢町観光まちづくり機構と町、事業者や観光関係者で協議を重ね、法定外目的税である「宿泊税」の導入に向けて取り組んで」とあるが、まず「宿泊税」の観光に特化した目的と使い道を、より具体的に明らかにしなければ、納得につながらない。明確な説明を求める。

その上で、税率・徴収対象施設・導入時期など、現時点での協議状況はどのか。

3. (P3)

「令和3年度～令和6年度に170人の移住実績」とあるが、何%が現在居住され、また就業しておられるか、またUターン者の割合はどの程度となっているか。

関連し、「企業誘致や起業支援などにより働く場の創出に取り組む」とある。話が2頁の内容に戻るが、台湾資本の中国企業の誘致は失敗に終わったのに「反省はない」とのことだった。同じことの繰り返しにならぬよう、所信においての考え方伺っておきたい。

4. (P4)

「湯沢町財政運営指針」に基づき主要事業や公共施設の見直しを行い、行財政の健全化に努める」とある。結局「主要事業や公共施設の見直し」の具体的な構想や方向の例が示されなければ、内容が伝わらず、健全化への道筋が見えない。

スクラップ＆ビルト。事業と施設について、何をどう強化あるいは保ち、何を縮小または廃止していく考えなのか、所信にあたりお示し頂きたい。

5. (P 1、5)

「はじめに」には「総合戦略の重点目標である「若者が生活の場として選択する町」の実現に向けた4年間と位置づけ、様々な課題に取り組み、積極的に町政を進める」とあり、

「おわりに」には「先人が培ってきた湯沢の力を信じ、変化に挑戦して湯沢の元気を全力で取り戻す」とある。

「合わせて考えるに、この先に向けて挑戦するんだか、取り戻すんだか、良くわからぬい」との声があった。わかりやすい解説を求める。